

「気づく」こと「行動する」こと

あなたは自分や周りの人の発言の中で、「今の言葉は人を傷つける言葉ではないだろうか?」と思ったことはありませんか。また、「〇〇だから、□□することはできない。△△してはいけない」というような思いこみに対して違和感を覚えたことはありませんか。

その「気づき」が人権尊重への第一歩です。

「人権」とは人が皆平等で、幸せに生きるため、誰もが生まれながらに持つ「権利」です。その「権利」を守るため、気づき、学び(正しく知り)、行動することは、よりよい社会をつくるためにとても大切なことです。

自分だけでなくすべての人々が幸せに生きていくためにはどうすべきか、みんなで考え、「行動」へとつなげていきましょう。

表紙の紹介

表紙A～Gは2019年「SIグランプリ」の入賞作品です。「SIグランプリ」は「いのち」をテーマに動画、絵画、工作、作文などを募集し、作品内容を自分たちで考え、楽しく製作することで、「人権」を身近に感じてもらうための取組です。

一人ひとりの個性を大切に、誰もが生きやすい豊かな社会をめざします。

も く じ

	ページ
 子ども 子どもを虐待から守る地域づくり ～広げよう見守りの輪～	3 4
 インターネット インターネットの光と闇 ～知り、学び、正しく使う～	5 6
 発達障害 知っていますか?『発達障害』 ～気づきから始まる特性の理解～	7 8
 ジェンダー 共生と人権 ～みんなちがって、みんないい～	9 10
 人権ピックス 誰もが暮らしやすい社会をつくるために	11
 人権ピックス 部落差別の解消に関する取組	12
 人権推進員 宍粟市市民人権推進員	13
 人権NOW 誰一人取り残さない 持続可能な開発目標(SDGs)と人権	14

優秀賞 A 『個性』 堀谷 彩夏さん

特別賞 B 『Life is shining』 段 舞音さん

C 『つながる命』 森本 真以さん

D 『ぼくのたいせつなたからもの。』 朱山 寿道さん

E 『命の源』 平田 亜湖さん

F 『皆(みんな)でつなぐ命の輪(和)』 デイサービスあすなろさん

G 『みんなで守ろう小さな命』 塚本 寧峰さん

※この冊子の作成について

①法律や診断名で定められているものは「障害」と表記しています。

②書体については、ユニバーサルデザインに配慮したフォントを使用しています。